



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 324  
March  
2020

## トピックス

### 関係機関との防災協力推進

JICA国別研修トルコ「防災教育 (B)」コースの実施

### 国際会議への参加

APEC 関連会議 (マレーシア)

### ADRC客員研究員レポート

ランジス・アラコーン (スリランカ)

## Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
http://www.adrc.asia

© ADRC 2020

## ●関係機関との防災協力推進

### JICA国別研修トルコ「防災教育 (B)」コースの実施

アジア防災センター (ADRC) は、9月に実施した研修に引き続き、2020年1月20日から31日にかけて、JICA関西と協力し、国別研修トルコ「防災教育 (B)」コースを実施しました。本コースは、日本の知見と経験を共有し、トルコにおける学校防災教育の包括的な教員トレーニングシステムを更に強化することを目的に実施されました。トルコ国民教育省 (MoNE) および学校教員計20名が参加しました。

本研修は、災害や学校防災教育を学ぶための実践的なアプローチを中心に構成されました。研修員は、神戸市の神戸幼稚園、仙台市の高砂小学校、名取市の関上小中学校、板橋区の中台中学校など各教育課程における様々な学校を訪問し、防災学習を視察しました。また、それぞれの学校教員と協議する機会もありました。さらに、研修員は多賀城高校が企画実施した「みやぎジュニアリーダー養成事業」を見学し、そのうちいくつかのプログラムには実際に参加もしました。同事業は、日本のさまざまな地域の高校生を対象として、グループワークやポスターセッション、セミナーなどの活動を通して、互いに防災について学ぶことを目的としたものでした。こうした実際の授業や実践の見学以外にも、研修員はカードゲームや実践的な演習、紙芝居などの教育ツールを実践的に学び、防災を能動的・実践的に学ぶ効果について認識を深めることができました。

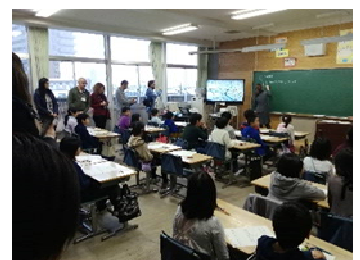
参加者全員は、JICA研修実施前に、MoNEが実施した「オンライン研修」のテスト結果をもとに選抜されたメンバーで、防災教育推進への関心が高かったことから、参加者はとても積極的に研修に参加しました。今回の研修では、同時期に別の目的で来日していたMoNEの副大臣が研修員の作成した帰国後のアクションプランの発表会を含むいくつかの研修プログラムに参加しました。副大臣は、すべての研修員が非常に熱心に学び、トルコにおける学校防災教育をさらに広め強化していくための多くのアイデアを得ていることにとっても強い印象を受けていました。今後、9月の研修に参加した研修員を含めた34人の参加者が本研修で学んだ知識、技術、手法を活用し、また研修を通して構築された人的ネットワークを使って、トルコの学校防災教育の推進のリーダーとなっていくことが大いに期待されます。



みやぎジュニアリーダー研修  
でのポスターセッション



実践的教育ツールを使った  
防災学習



高砂小学校での授業の見学

## ●国際会議への参加

### APEC 関連会議（マレーシア）

ADRC鈴木所長は2020年1月、APEC緊急事態の備え作業部会（EPWG）の共同議長に就任しました。2020年2月17日から18日にわたり、マレーシアのプトラジャヤにて開催された「経済及び科学技術協力に関する高級事務レベル会合管理運営委員会（全体会合委員会）」及び同会合非公式会議、「2020年以降のビジョンに関するマルチ・ステークホルダー対話」に参加しました。

「経済及び科学技術協力に関する高級事務レベル会合管理運営委員会（全体会合委員会）」は、経済及び科学技術協力に関するテーマを扱う様々なワーキンググループの2020年の事業計画を共有し、APECに属する各エコノミーからの質問や意見を聴取するものです。

2月17日には、各ワーキンググループなどの議長及びAPEC事務局などが参加した非公式会合という位置付けの会合で、各ワーキンググループの事業計画を共有することで、各々の活動の理解を深めるとともに、ワーキンググループの連携による取り組みを促進する環境を整えました。

2月18日の会合では各エコノミーが参加して、事業計画に対して意見やコメントが表明されました。鈴木所長が共同議長を務めるEPWGに対しては、タイから健康に関する作業部会と連携をしてコロナウィルスに対する対応への取り組みへの期待が寄せられました。



## ●ADRC客員研究員レポート

### ランジス・アラコーン（スリランカ）

私はランジス・アラコーンと申します。スリランカのプッタラム県にある災害管理センター（DMC）の課長補佐として勤務しています。DMCは、スリランカにおける防災を担う組織で、現在は、防衛省下にあります。2018年からDMCで勤務を始め、それ以前の5年間は防災省の国家災害救援支援センターで災害救援支援担当官として防災の経験を積みました。私は2009年にスリランカのスリジャヤワルダナプラ大学を卒業し、地理学の学位を取得しました。その後2018年にペラデニヤ大学においてGISとリモートセンシングの修士号を取得しました。またJICAのヤングリーダー防災研修も受講しました。

現在、DMCの課長補佐として、プッタラム県の災害予防・対応・減災活動や、訓練・意識啓発といった仙台防災枠組のターゲット達成に向けた活動を担当しています。

ADRCのVRプログラムは、日本における災害対策や防災活動について学ぶ貴重な機会を与えてくれます。日本の防災における役割は大変重要で、これまでに大災害と対峙した数多くの経験や学びがあります。日本滞在中には、洪水への緊急対応や復興計画への備えについて、我が国での国家、地方レベルでの災害対応や復興計画作成に役立てたいと思います。このような機会を与えてくれた日本政府、ADRC、スリランカ政府、DMCに感謝いたします。



## 問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。